

SENDAI TOHOKU STARTUP ECOSYSTEM ACCELERATION PLAN

第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画

仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

Beyond Limits. Unlock Our Potential.

To the Next Stage **and Global!**



Social Innovation for Global Impact from TOHOKU

東北の強み・特徴を活かしつつ、世界を見据え、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続けるスタートアップの輩出・育成

世界とシームレスにつながる

仙台グローバルスタートアップ・ハブ等を通じた海外ベンチャーキャピタル、海外アクセラレーター、海外大学などグローバル・エコシステムとの共創・連携、仙台市でのグローバルスタートアップイベントの開催や海外イベント出展による仙台・東北のスタートアップに対する成長支援

スタートアップの成長を徹底的に支援する

東北各県の支援拠点や仙台スタートアップスタジオを中核として、自治体、大企業、地場中堅・中小企業、大学、金融機関など多様なステークホルダーによる各種サポートを通じた企業価値の向上、実証フィールドの提供やオープンイノベーションを通じた地域課題解決や地場産業への波及効果の創出

持続的にスタートアップを輩出するエコシステムの基盤をつくる

国際卓越研究大学・東北大学、みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム、仙台グローバルスタートアップ・キャンパス等のアントレプレナーシップ教育プログラムや海外派遣プログラムを通じた人材育成、仙台・東北にゆかりのある支援者などエコシステムの核となる人材の確保とネットワーク構築

第2期拠点形成計画KPI

時価総額
100億円企業
(5年間)

10社

マッチング件数
(5年間)

1,000件

スタートアップ
輩出・育成
(5年間)

500社

海外スタート
アップ支援
(5年間)

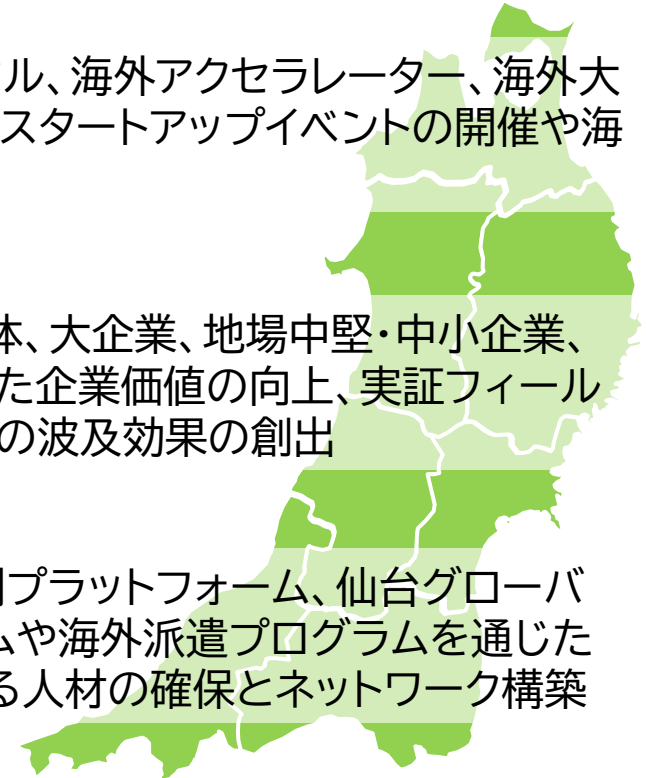
100件

アントレプレ
ナーシップ醸成
(5年間)

50,000人

新規中小企業者
からの公共調達
(5年間)

100件



I. 全体ビジョン エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

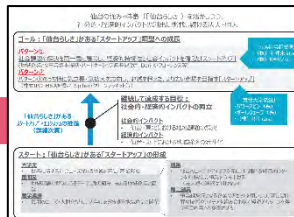
この5年間で東北地域において多彩なスタートアップを育む支援環境が大きく前進



2019年
仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会設立



2020年
スタートアップ・エコシステム
拠点都市に選定



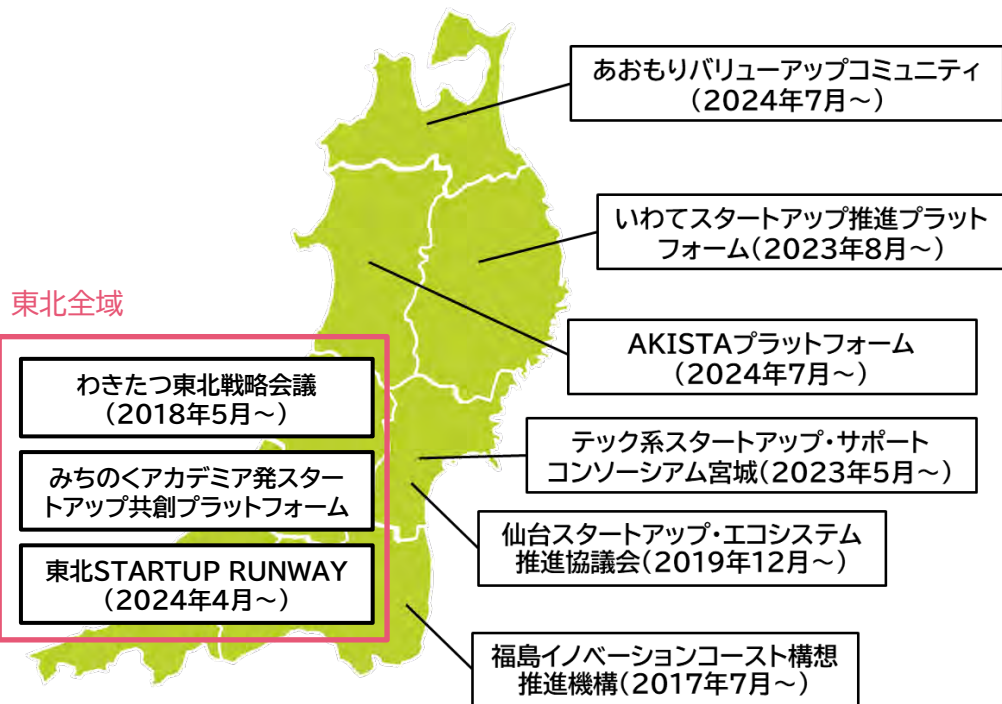
2022年
仙台スタートアップ戦略
策定



2023年
SENDAI STARTUP
CAMPUS構想始動



2024年
仙台スタートアップスタジオ
オープン



各自治体でのスタートアップ支援コンソーシアムの創設、支援拠点間でのイベントや伴走支援、海外派遣プログラムでの連携促進など各県が地域の強みや特徴を活かしたスタートアップ支援、新規事業の創出支援を展開



東北経済連合会を中心とした
仙台・東北財界との支援環境整備



東北全域でスタートアップ支援や地域企業の新規事業創出を目的とした拠点が増加



仙台経済同友会の経営者による
経営に関する相談体制の構築

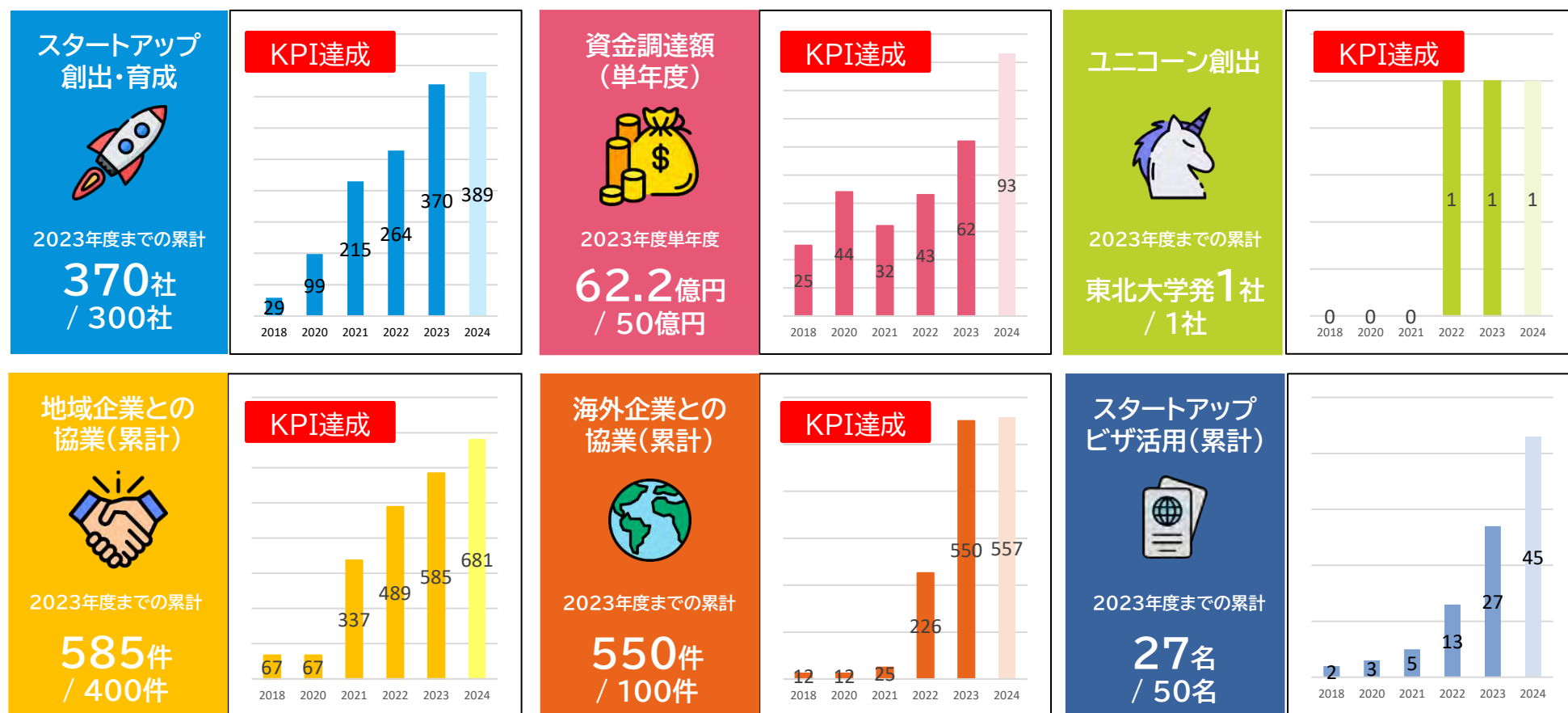


仙台・東北にゆかりのある支援者や経営者による相談体制の構築

I. 全体ビジョン エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

エコシステムの現在地 拠点形成計画KPI達成状況

2020年からの4年間で累計**182億円**の資金調達を支援
2023年度の資金調達額**62億円**のうち
約7割にあたる**約47億円**が**ディープテック・スタートアップ**
東北の強みを活かしたスタートアップがエコシステムをけん引



※2024年度実績は2024年12月時点暫定値

I. 全体ビジョン エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿

Social Innovation for Global Impact from TOHOKU

東北地域の産学官金が一体となって**広域ネットワーク型**で
大学発等スタートアップを軸に、スタートアップ・エコシステムをさらに発展させ、
国内外の課題解決に資するスタートアップの創出を加速。
東北地域を課題先進地域から課題解決先進地域へ。

地域に存在する社会課題 × アイデア・ビジネスモデル・大学等の技術シーズ × 挑戦する人々

方向性①: 大学技術シーズの事業化・産業化

大学発の革新的技術・アイデアによる
創業

方向性②: 社会課題解決に向けたチャレンジ促進

革新的ビジネスモデルによる創業・
ビジネスモデル変革を伴う第二創業

仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアムを中心とした
VC・支援機関などスタートアップに係る地域経営資源をフルに活用した支援



社会課題の解決を第一義に展開し、
経済的持続性と社会インパクトを
備えたインパクト・スタートアップ



社会的・経済的インパクトを両立し、
成長志向で、地域を超えたより広い市場
を目指すディープテック・スタートアップ

東北の強み・特徴を活かしつつ、世界を見据え、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続けるスタートアップの輩出・育成

I. 全体ビジョン エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム 第2期拠点形成計画KPI

東北の強み・特徴を活かしつつ、世界を見据え、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続けるスタートアップの輩出・育成

KPI①

東北地域の時価総額100億円以上のスタートアップ数

10社以上／5年
(中間目標3社)
(R6年度実績1社)



KPI③

ディープテック／インパクト
スタートアップ輩出・育成数

500社以上／5年
(中間目標300社)
(R6年度実績73社)



KPI⑤

アントレプレナーシップ育成
プログラム受講者数

50,000人以上／5年
(中間目標30,000人)
(R6年度実績2,867人)



KPI⑥

新規中小企業者からの
公共調達件数

100件以上／5年
(中間目標40件)
(R6年度実績5件)



KPI②

海外企業・海外自治体等との
マッチング件数

1,000件以上／5年
(中間目標400件)
(R6年度実績214件)



KPI④

外国人起業家・海外スタート
アップの支援件数

100件以上／5年
(中間目標40件)
(R6年度実績22件)



東北の多様な支援拠点・インキュベーション施設、
支援者が連携し、スタートアップが集い、出会い、
成長していくための様々なサポートを提供

I. 全体ビジョン 世界に発信できるセールスポイント①

DEEP & DIVERSE - Clustering of research seeds and Deep Tech & Impact startups -

仙台・東北には、医療・ヘルスケア、農業・食、環境、防災分野を中心として、
社会ニーズが大きくイノベーションが期待される領域での
研究シーズ、ディープテックスタートアップやインパクトスタートアップが集積

【研究シーズ・スタートアップの集積】



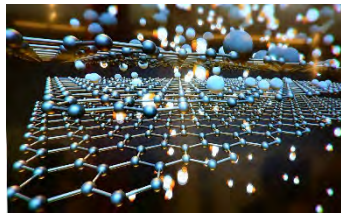
医療・バイオ・ヘルスケア領域



水・食料・エネルギーなど
産業・ライフライン領域



防災・減災・インフラ領域



産業・社会の高度化を
牽引する機能性材料領域



IoT・人工知能領域
ロボティクス・デジタル化技術領域

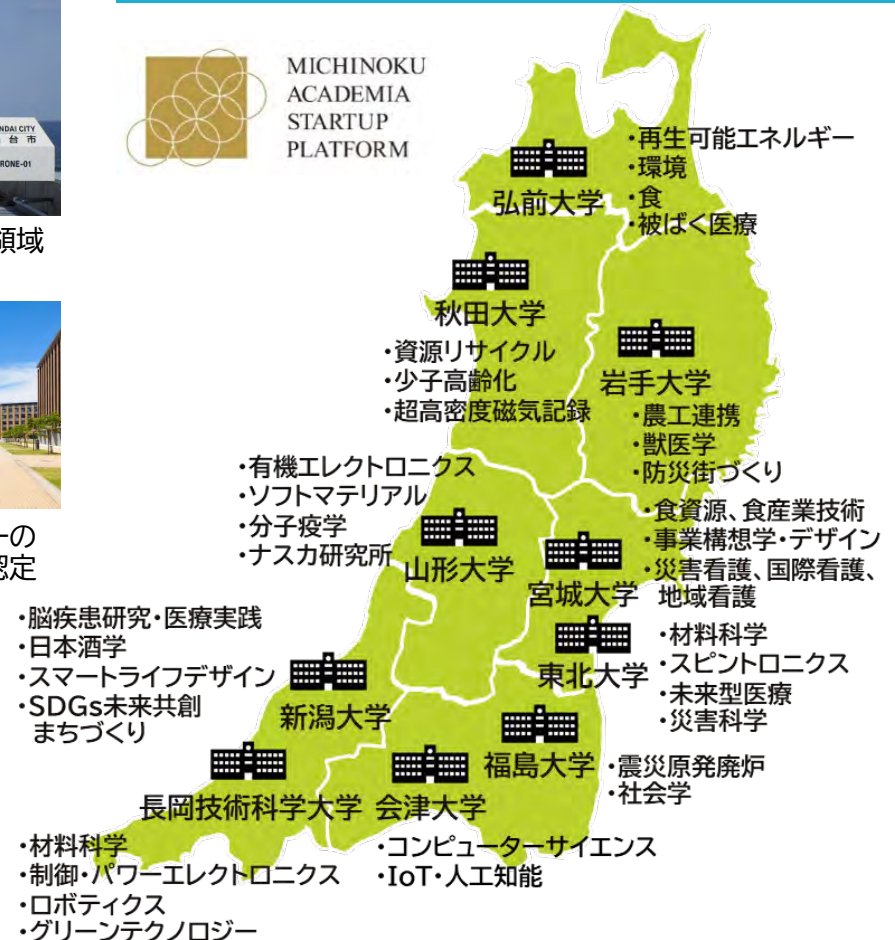


東北大学の国内唯一の
国際卓越研究大学認定

【産業・実証フィールドの集積】

- ・日本の総生産額の2割を占める第1次産業
- ・自動車や医療機器、半導体関連産業、宇宙関連産業など日本の産業競争力を支える産業の製造拠点・研究開発拠点の集積
- ・ロボットやドローンなど近未来技術の実証フィールド
- ・東日本大震災からの復興過程における社会起業家の集積
- ・ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点・仙台

MASP主要大学の強みを有する研究領域



I. 全体ビジョン 世界に発信できるセールスポイント②

課題先進地域である仙台・東北の特色を活かした実証フィールドの提供

東北大学をはじめとする大学シーズとの共同研究や共創環境、社会問題が山積み進行する環境の活用、首都圏に比較してコスト面で有利な立地環境や補助金等により起業しやすい環境を提供

【大学発研究シーズや産学官金企業との協業・共創】



材料や医療の研究で先端技術を誇る東北大学をはじめ、仙台・東北から22の大学・高専機関が参画。国内の主たる産学官金の組織が連携し、様々な共創や協業関係が構築できる環境を構築。

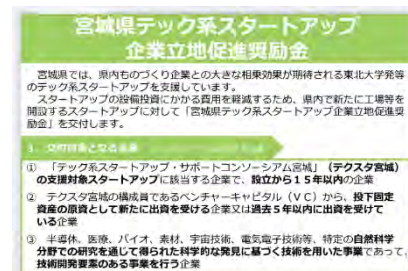
【社会課題先進地域ならではの課題解決】



高齢化、若者の首都圏等への流出、過疎化等課題が先進する地域ならではの社会課題解決需要に基づき、実証フィールドの提供や企業等とのパートナーシップを促進。

【例】地域のバス路線が廃止された問題に対し、国際教養大学生が立ち上げたマッチングアプリによるライドシェアサービス

【企業立地促進助成金等による支援体制】



仙台市や宮城県をはじめ、各地域で本社移転、バックオフィス構築等に対する立地助成補助金を設けており、新たなスタートアップの拠点形成に対する支援環境が確立。

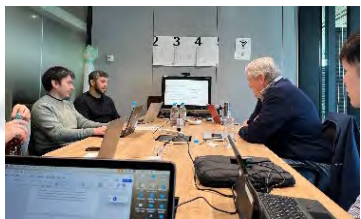
【多様な実証フィールドの提供】



震災復興に基づき誕生したふくしまロボットテストフィールドや、BOSAI-TECHプログラムでのドローン実証フィールド提供等、海・山・川・都市部・郊外・農村等多様な実証フィールドにより、「スタートアップが起業しやすい環境」を形成。

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 実績と目標

海外アクセラレーターや海外大学等と連携したプログラム、海外展示会等への出展を通じた
仙台・東北のスタートアップのグローバル展開をサポート



English Mentoring & Lecture @ 仙台

JETROやUS Market Access Center、MASP、仙台市が連携し、東北のスタートアップや起業志望の学生・研究者に対して、英語でのメンタリング、海外マーケットへの事業展開のポイントに関するレクチャーを定期的実施。

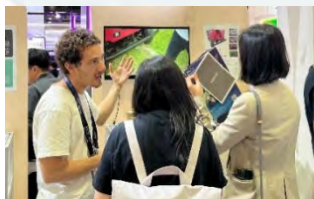
フィンランド・オウル市と連携し
Polar Bear Pitching Japan
国内予選の開催を支援



スウェーデン・BIO Europeやフィンランド・SLUSH、
スペイン4 Years From Nowへブース出展
JETROと仙台市が現地パートナーと連携して
東北のスタートアップの現地での商談獲得を支援。

シリコンバレー短期派遣プログラム
JETROと仙台市が連携し、東北のスタートアップに対して、
メンタリングやレクチャー、エンジェル投資家、VC、CVCと
のマッチング機会を提供。

ハーバード・ビジネススクール
JAPAN IFCを通じた連携と
東北の起業家へのメンタリング



シンガポール・SWITCH出展
JETROやMASP、仙台市が連携し、東北のスタート
アップに対してSWITCHへの出展機会を提供し、
現地企業とのマッチングイベントを開催。

シンガポール短期派遣プログラム
MASPと仙台市が連携し、学生やGAPファンド採択者
に対してNUS、BLOCK71、A*Start、スマートシティ・プ
ンゴル等でのメンタリング、レクチャー、現地視察を実施。

シリコンバレー、ニューヨーク、
フランスへ仙台市長が訪問
現地キーパーソンや
スタートアップと意見交換を実施。

※MASP:みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(主幹機関:東北大学)

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組① 全体像

仙台グローバルスタートアップ・ハブを中核として各県と連携し
仙台・東北のスタートアップの海外進出、海外スタートアップの呼び込みをワンストップで支援

【Outbound(東北から世界へ)】

Pre-Seed

- ・世界標準のアントレプレナーシップ教育プログラム提供
- ・海外派遣プログラムの実施
- ・シンガポールやシリコンバレー等の大学やアクセラレーターとの連携

Seed

- ・スタートアップ経営者に対する意識醸成
- ・海外展開に向けた個別相談対応

Early・Middle

- ・ハーバード・ビジネススクール等との連携
- ・海外展開に向けたブートキャンプ実施
- ・海外展示会等への出展支援
- ・海外拠点と連携した商談獲得・マッチング支援

シリコンバレー、ボストン、シンガポール等の
海外エコシステムとの連携強化

【Inbound(世界から東北へ)】

Pre-Seed

- ・東北大学の国際卓越研究大学認定を契機とした外国人研究者や留学生の呼び込み
- ・留学生や外国人に対する個別相談対応
- ・スタートアップビザ活用促進
- ・外国人起業家コミュニティ形成

Seed・Early・Middle

- ・海外スタートアップに対する個別相談対応
- ・国際スタートアップイベント開催
- ・ビジネスマッチング支援
- ・海外拠点と連携した情報発信

仙台グローバルスタートアップ・ハブ

Inbound & Outboundをワンストップで支援
ビジネス環境に加え、東北の豊かな食や観光など魅力を発信

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組②

仙台グローバルスタートアップ・ハブの開設

仙台・東北からグローバルに成長し稼げるスタートアップを輩出するエコシステムの形成に向け、新たに「**仙台グローバルスタートアップ・ハブ**」を開設。
海外のベンチャーキャピタル、大学、アクセラレーターなどとの連携体制を構築し、海外展開を志向するスタートアップや仙台・東北での起業を希望する外国人、仙台・東北への事業展開を目指すスタートアップに対する相談対応やハンズオン支援など**Inbound&Outbound**をワンストップで支援。



海外展開を志向する
スタートアップに対する相談対応



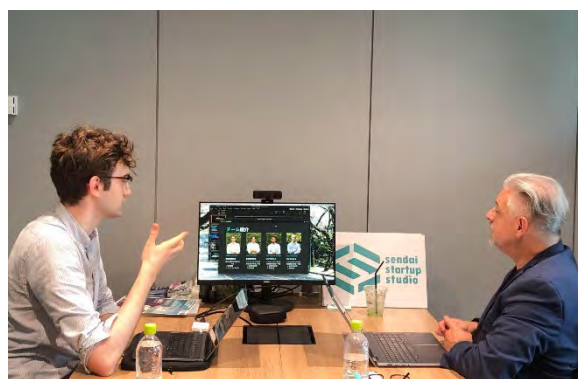
現地のニーズや商習慣に関する
研修や英語でのピッチトレーニング



スタートアップのニーズに基づく
国内・海外展示会への出展支援



海外での商談獲得・成約に向けた
伴走支援



海外スタートアップの仙台進出支援



外国人起業コミュニティ構築

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組③

【Outbound(東北から世界へ)】 Pre-Seedステージ

海外大学やアクセラレーターと連携した世界標準のアントレプレナーシップ教育プログラム提供、海外派遣プログラム実施

海外リーディング大学と連携してスタートアップキャンパスを構築

UC Berkeley



アントレプレナーシップ教育 DESIGN THINKING

- 米UCバークレーHaasビジネススクールの講師によるデザイン思考の授業（オンライン+現地派遣プログラム）
- 日本の大学と米UCバークレーSkydeckによるMOU/事業化支援（ジェトロ連携）

École Polytechnique



アントレプレナーシップ教育 Deep Tech

- 仏エコールポリテクニクで提供の、ディープテックスタートアップを生み出す実践的な授業（オンライン授業/コーチング+現地派遣プログラム）

Tallinn University of Technology



アントレプレナーシップ教育 DX

- タリン工科大学で提供のe-Governance（デジタル技術を用いた行政・社会改革）の現地プログラムを受講するプログラム
- 帰国後に地元の課題解決に資するフィールドワーク等を実施

University of Chicago



量子スタートアップ創出ワークショップ (2024年7月)

- 東北大学・Q-STAR・シカゴ大学の共催。シカゴ大学の大学発量子スタートアップ・アクセラレーションプログラムであるDualityへの本格参加につながる「Duality Japan Program」の策定を見据え、本学学生を含む我が国の若手研究者に量子分野の基礎研究から事業化に向けた更なるステップアップを進めるため提供されたプログラムに基づく専門的議論

Workshop for Quantum Startups Creation in Japan

with Chicago-Q STAR, Tokyo Quantum Alliance Symposium

2024. 7.29 15:00-17:30 Quantum Interaction Workshop

7.30 13:00-17:00 1:1 Mentoring Session

13:00-17:00 Workshop

Public lecture on a 1-day workshop for Quantum startups creation

Participants at Quantum startup creation workshop are invited to attend the public lecture

東京モッドタウン・東京量子イノベーションフィールド・東京量子イノベーションセンター

Tokyo Midtown Tokyo Innovation Field (1-1-1 Aomi, Minato-ku, Tokyo)

15:00-17:30 15:00-17:30 15:00-17:30 15:00-17:30

Workshop for Quantum Startups Creation

Giving a lecture on the following themes by the University of Chicago

1. Quantum computing and its applications to various fields

2. Quantum communication and its applications to various fields

3. Quantum sensing and its applications to various fields

4. Quantum cryptography and its applications to various fields

5. Quantum machine learning and its applications to various fields

6. Quantum optimization and its applications to various fields

7. Quantum simulation and its applications to various fields

8. Quantum metrology and its applications to various fields

9. Quantum information theory and its applications to various fields

10. Quantum entanglement and its applications to various fields

Harvard Business School Stanford University



海外派遣プログラム (SENDAI GLOBAL STARTUP CAMPUS)

SENDAI Global Startup Campus (SGSC)



- 仙台市の海外派遣プログラムと連携、東北の学生・若者を対象として最先端の教育プログラムの提供や海外先進地域に派遣

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組④

【Outbound(東北から世界へ)】Seedステージ

仙台グローバルスタートアップ・ハブにおけるスタートアップ経営者に対する意識醸成、海外展開に向けた個別相談対応

Born Globalな視点で海外市場へ挑戦するスタートアップを育成

● 仙台グローバルスタートアップ・ハブ

海外展開を志向するスタートアップに対して、仙台スタートアップスタジオを会場に個別相談会や海外展開に必要な知識やノウハウの習得に役立つセミナー等を開催し、スタートアップが事業展開を検討する海外市場に関する情報の提供、海外の展示商談会の出展に向けた事前準備、現地での商談獲得等に向けたアドバイスを実施。



参考: 仙台スタートアップスタジオでの関連プログラム
・English Mentoring Day(米国・US Market Access Center)
・英語でのピッチスキル向上ワークショップ(カナダ・Focus Education Services)

● グローカルイノベーター育成

事業立ち上げ期～シード期のスタートアップをシンガポールに派遣し、現地のスタートアップや投資家、政府機関、事業会社、大学等の海外のエコシステムとのネットワーク形成を図り、シンガポールを起点とした東南アジア市場等での事業の立ち上げや事業成長を後押しし、仙台・東北から世界で稼ぐスタートアップの輩出を目指す。



参考: MASPと仙台市、ICMGによるシンガポール短期派遣プログラム 13

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組⑤

【Outbound(東北から世界へ)】Early・Middle

海外展開に向けたブートキャンプ実施、海外展示会等への出展支援、商談獲得・マッチング支援

海外のスタートアップイベントへの出展を通じてスタートアップの成長を後押し

● 仙台グローバルスタートアップ・ハブ



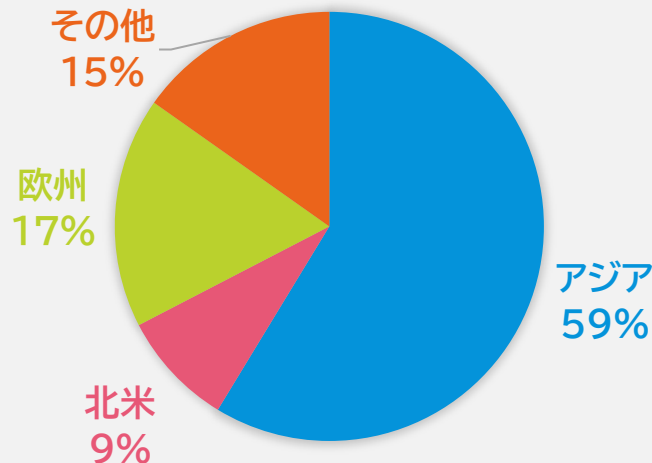
海外展開に向けてスタートアップに対するブートキャンプを実施



スタートアップのニーズに基づく国内・海外展示会への出展支援



海外での商談獲得・成約に向けた伴走支援



J-Startup TOHOKU企業等に対してアンケートやヒアリングを実施し、ニーズに基づき出展するスタートアップイベントを選定。出展に合わせてJETROや現地パートナーと連携して商談獲得支援を実施。

【出展イベント例】※いずれも出展実績あり

- ・シンガポール: SWITCH
- ・台湾: InnoVEX、SEMICON Taiwan、MeetTaipei
- ・米国: BIO International
- ・フランス: VIVA Technology
- ・ドイツ: MEDICA
- ・スペイン: 4YFN
- ・フィンランド: SLUSH

Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組⑥

【Inbound(世界から東北へ)】Pre-Seed

外国人起業家コミュニティ形成、留学生や外国人に対する個別相談対応、スタートアップビザ活用促進に向けた伴走支援

仙台・東北での起業を目指す外国人に対して、コミュニティ形成や課題・ニーズに応じた伴走支援を実施

● SENDAI Global Lounge

海外からの留学生や研究者等の流入増加が見込まれることから、起業やスタートアップに関心のある留学生や外国人を対象とした新たな起業支援プログラム「仙台グローバルラウンジ」を開始。外国人起業家コミュニティの形成を促進。



Kick-off Seminar

Think Globally, Acting Locally

東北大学発スタートアップ「輝翠TECH」CEOのタミル・ブルーム氏をゲストに招き、「グローバルに考え、ローカルに行動する」をテーマに、輝翠TECH立ち上げのストーリーや、留学生が起業する際の課題や障壁を乗り越えるためのポイント、未来の起業家へのメッセージを共有いただいた。多くの留学生が参加し、多くの質疑応答があった。今後も定期的にイベントを開催予定。



● 仙台グローバルスタートアップ・ハブ(スタートアップビザ対応強化)

仙台での起業を目指す外国人に対して、スタートアップビザ申請に向けた事業計画書の作成、日本上陸後の住居の手配や銀行口座開設手続き等について外部専門人材による細やかなサポートを行うことで、より外国人が起業しやすい環境を整える。



Ⅱ. 世界とシームレスにつながる 今後の取組⑦

【Inbound(世界から東北へ)】Seed・Early・Middle

海外スタートアップに対する個別相談対応、ビジネスマッチング支援、国際スタートアップイベント開催、情報発信

仙台・東北での事業展開を目指す海外スタートアップに対してマッチング機会を提供

● 仙台グローバルスタートアップ・ハブ(海外スタートアップ誘致)

仙台市やコンソーシアム参画団体が人的ネットワークを有するシンガポール、シリコンバレー、台湾、フィンランド、ドイツのベンチャーキャピタル、アクセラレーター、大学、自治体等の関係者と連携し、海外スタートアップイベントへの出展機会等を活用した海外スタートアップに対する情報発信や、仙台・東北での事業展開を目指すスタートアップと地域企業等とのマッチング機会の提供、実証フィールドの提供、拠点開設に向けた支援を実施。



● グローバルスタートアップイベント「DATERISE!」

スタートアップの資金調達や事業成長、本市のブランディング等を目的としてグローバルに活躍するスタートアップや域外の投資家等が集まる国際スタートアップイベントを開催する。グローバル・スタートアップ都市・仙台の認知向上、ヒト・モノ・カネの呼び込みを加速。



KEYNOTE SPEECH



DATERISE! PITCH CONTEST



GLOBAL PANEL DISCUSSION



BOOTH AREA



縁日 ENNICH



U-25 IDEA WORKSHOP

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 実績と目標①

仙台・東北のスタートアップに対して、ステージごとに生じるニーズに応じた支援を提供

2024年3月
アーバンネット仙台中央ビル内にスタートアップのための
ワンストップ支援拠点「仙台スタートアップスタジオ」開設

スタジオをハブとして、地域内外の支援人材・支援拠点の連携を強化
支援体制のさらなる充実を図る。



アーバンネット仙台中央ビル



窓口相談



アドバイザーボード



メンタースボックス



イベント開催



集中支援プログラム



外国人の起業相談対応

首都圏でのマッチングイベントや拠点を通じて
首都圏のベンチャーキャピタル、アクセラレーターなど
支援者やCxO人材とのネットワーク構築

首都圏
スタートアップ支援
ネットワーク構築



スタートアップイベント
の開催や登壇



CxO候補人材/
VCとのマッチング



CxO候補 100名超マッチング
VC 10社超マッチング



オンラインコミュニティ
での情報発信



東北地方全域を対象とした集中支援プログラムを実施し、
スタートアップのニーズと目指すゴールに応じた支援を提供



東北ソーシャル・インパクトアクセラレーター (SIA)
社会課題解決に向けたチャレンジ促進



東北グロースアクセラレーター (TGA)
大学技術の事業化・産業化

社会課題の解決を第一義に展開し、
経済的持続性と社会インパクトを備えた
インパクト・スタートアップ

社会的・経済的インパクトを両立し、
成長志向で、地域を超えたより広い市場を
目指すディープテック・スタートアップ

2つのプログラムにより、2017年からの8年間で191者の起業家を支援
仙台の強みを活かしつつ、社会的・経済的インパクトの創出に
挑戦し続けるスタートアップのエコシステムを構築してきた

スタートアップと地域のVC・金融機関等をマッチング
資金調達の相談やアイデアの壁打ちなどを支援



東北エリアで
資金調達の一括相談ができる

東北大学ベンチャーパートナーズ
Tohoku University Venture Partners

いわざん未来投資
Iwazanshi Future Investment

JFC 日本政策金融公庫

Procrea
青森みちのく銀行

FVC Tohoku

きらやか銀行

秋田銀行

京東日本スタートアップ株式会社
JR East Start Up Co., Ltd.

北日本銀行

77 七十七銀行

77 七十七キャピタル

ACF あきぎんキャピタルパートナーズ

いわざん事業創造キャピタル

地域経済活性化支援機構



東邦銀行

三井住友信託銀行

山形銀行

その夢の、一歩先へ
Open the Future with You

Orico

SAMURAI
INCUBATE

Spurcle

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 実績と目標②

スタートアップの事業成長を促進するため、多様な主体とのマッチング機会や支援を提供

地域内でのオープンイノベーションの促進



●プログラミング教材協業の取り組み
小型ロボットを用いたDXハイスクールメニューの検討。
(NTT東日本×リビングロボット)



●INNOVATION NEXUS TOHOKU
日本全国のスタートアップと東北地域の企業をつなぎイノベーションを創出するビジネスマッチングプログラムを実施。
(TOINX、スパークル)

J-Startup TOHOKUプログラムによる支援



東北全域から有望なスタートアップを選定し、東北地域から挑戦する企業群に脚光を当てるとともに、政府施策の優遇措置や、J-Startup TOHOKU地域サポーターズによる官民支援を実施。

実証フィールドの提供による成長支援



●仙台BOSAI-TECH実証実験支援
仙台・東北の企業を対象に、防災関連のアイデア・ソリューションの事業化に向けた実証実験や試作開発を支援。

●ビル利用者への実証実験
歩行データ収集による認知症予防に関する実証を実施。
(NTT都市開発×磐井AI)



●カフェインコントロールに関する実証
デカフェコーヒーの試飲による睡眠とカフェインに関する影響度をチェック。
(NTT東日本×ストーリーライン×宮城県)



●施設内の音響改善に関する実証
仙台のスタートアップの開発したスピーカーをスタートアップ支援施設へ試験導入。(ミュージナル)

公共調達を通じた地域課題や行政課題の解決



●クロス・センダイ・ラボ事業

民間企業等からの提案や相談を一元的に受け付け、関係部局との調整を行う窓口を仙台市役所内に開設。
担当部局が明確でない、あるいは複数の部局にまたがるような案件などに関して、相談・提案しやすい環境を整えるとともに、「パートナーシップ推進事業」と「実証フィールド支援事業」の2つの取り組みにより、提案された内容を的確に行政課題や地域課題の解決に結び付ける環境を整備。



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 取組事例①

大企業の誘致に向けた取り組み(ナノテラスの産業利用促進を通じた大企業の進出促進)

3GeV高輝度放射光施設であるナノテラスの運用開始による大企業等のナノテラス利用者との連携や東北大学をはじめとする大学発スタートアップとの協業機会醸成を図る。



出典：東北大学総合情報「まなびの杜」(<https://web.tohoku.ac.jp/manabi/featured/sf01/>)

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 取組事例②

海外スタートアップ誘致の取り組み(台湾・陽明交通大学との連携協定を活用した現地スタートアップ誘致に向けた動き)

東北大学と台湾・新竹市の国立陽明交通大学がMOUを締結し、半導体関連産業の振興に向けた取り組みを開始。
仙台市から国立陽明交通大学に職員を派遣し、現地駐在の強みを活かして台湾企業・スタートアップの誘致、
仙台・東北の企業との協業、ビジネス創出に向けた招へいプログラムや受け入れ態勢を構築。

● 台湾・陽明交通大学への仙台市職員派遣

2024年9月から台湾の陽明交通大学へ仙台市職員を派遣。東北大学の協力により、日本の大学や企業との窓口となる台日交流推進弁公室に勤務。

陽明交通大学:半導体分野で世界最先端の研究開発を行う。新竹サイエンスパークの中心的役割を担い、TSMC等の半導体企業に多くの人材を輩出している。

Taiwan x Tohoku Innovation Tour ~Exploring Keys to Future Startup Collaboration~



Tohoku Startup Ecosystem Introduction

● Tour of incubation facilities at Tohoku University and Sendai City

Tohoku University and Sendai City are hubs for advanced research and industry-academia collaboration. We will showcase the journey from basic research to commercialization, highlighting technological innovations and entrepreneurship support. Participants can explore concrete examples of innovation from regions tackling advanced challenges.

● Introduction of startups from Tohoku University

Through the university's research and efforts to address regional issues, we aim to share solutions to common challenges in Taiwan and Japan, such as low birthrate, aging population, disaster prevention, and regional revitalization, while enhancing international cooperation.

Facility Tour



Startup Introduction



● 台湾企業誘致や市内企業協業機会の創出

東北大学と陽明交通大学の提携関係のもと、新竹の半導体関連企業や研究機関とのネットワークを構築し、台湾スタートアップ等の誘致や東北地域の企業との協業機会創出に取り組む。



Invitees

- ① Work with Taiwanese government agencies, universities, and accelerators to help shape future international programs.
- ② Connect the startup ecosystems of Japan and Taiwan to strengthen global cooperation.

Invitees

Government Organizations

※Number of people plan to invite



1 person



2 persons

University on-campus accelerators

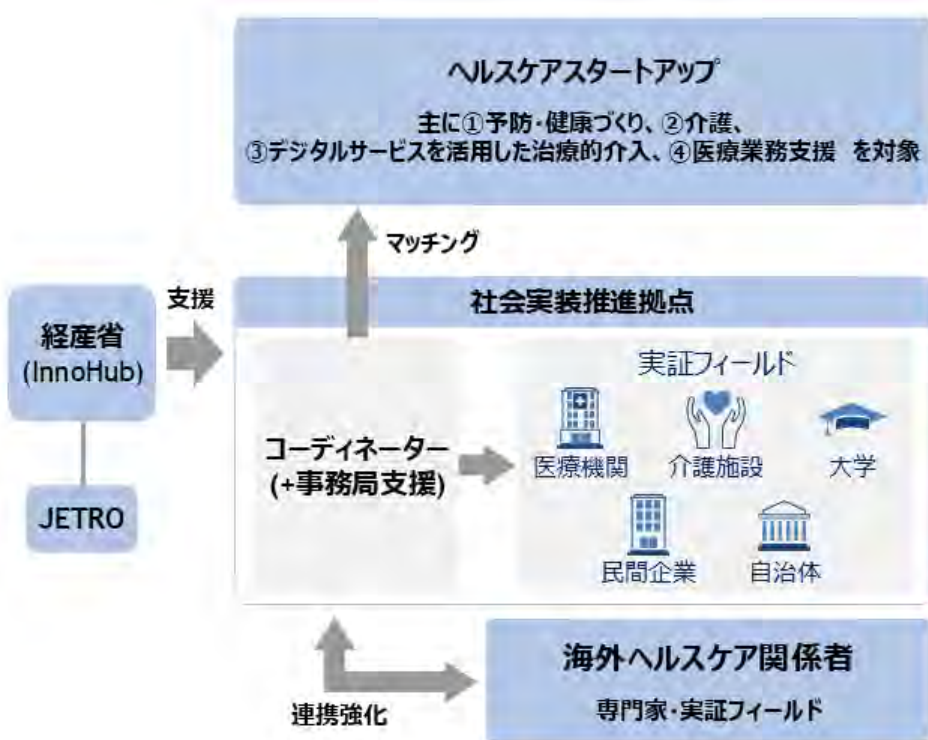


2 persons

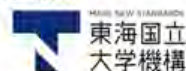
Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 取組事例③

ヘルスケアスタートアップ地域拠点育成事業

経済産業省は、ヘルスケアスタートアップの社会実装を推進する拠点として仙台市を選定(国内3ヶ所の内の1つ)。ReGACY Innovation Group、東北大学、仙台市産業振興事業団、仙台市が連携し、ヘルスケアスタートアップの事業成長に向けた相談対応、PoC等の支援、地域企業等とのマッチングを行う。新たなヘルスケアサービスの社会実装を通じて、予防・進行抑制・共生型の健康・医療システムや新産業の創出・活性化の基盤となるイノベーション・エコシステムの構築を目指す。



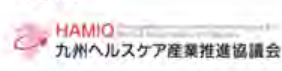
愛知県



仙台市



九州



支援対象 /領域

- ・ 高齢化・少子化対策
- ・ シード期～社会実装
- ・ 地域医療、デジタル・AI
- ・ Seed～Series A
- ・ 医療・介護の機器
- ・ 製品企画～海外展開

連携体制

- ・ 自治体
- ・ STATION Ai
- ・ 企業 (富士通、沢井製薬) 等
- ・ 仙台市
- ・ 東北大学
- ・ 仙台市産業振興事業団
- ・ 仙台スタートアップスタジオ
- ・ 九州全域の自治体
- ・ 大学 (九州大学、九州工業大学)
- ・ 医療機関等

特徴

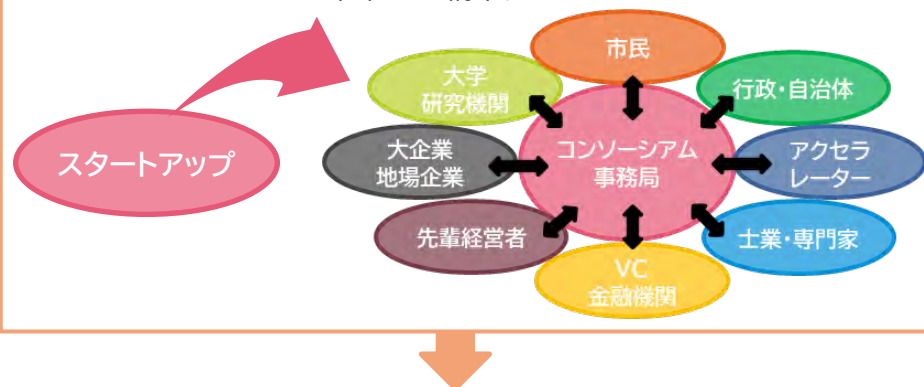
- ・ 東海地域におけるビッグデータ活用とエビデンス創出
- ・ 全国70自治体が参加する医療・福祉統合ネットワークを活用
- ・ STATION Aiを拠点とした起業支援と地域連携
- ・ 医師会および地域医療機関と連携したガイドライン作成と実証
- ・ 独自ネットワークでヘルスケアスタートアップをスカウト、支援
- ・ ヘルスケア領域での累計900件超のマッチングイベント実績
- ・ 11年の経験と数十社の実績を持つ「HAMIQ」の支援体制
- ・ 200社以上の開発支援企業や実証施設ネットワーク
- ・ VCや自治体を通じた資金調達サポート

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する 今後の取組

自治体・地元企業等とのマッチングや実証フィールドの提供、オープンイノベーションをさらに促進

スタートアップ向けワンストップ窓口機能の整備

仙台・東北での実証や事業展開、地場企業等との協業を希望するスタートアップに対するワンストップ窓口機能を新コンソーシアム事務局内に整備し、新コンソーシアムに参画する東北各県の自治体や支援機関、企業、支援プログラムとマッチングさせる仕組みを構築。



多様な実証フィールドの提供

福島イノベーション・コースト構想に基づき開設された「福島ロボットテストフィールド」、東北大学青葉山キャンパス内にて開設された3GeV高輝度放射光施設「ナノテラス」、仙台BOSAI-TECH イノベーションプラットフォーム等での実証機会を提供し、域内外のスタートアップの誘致・集積や、スタートアップの成長を支援。



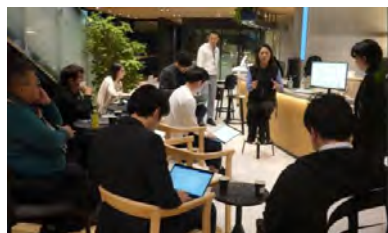
福島ロボットテストフィールド
(福島県南相馬市)



3GeV高輝度放射光施設「ナノテラス」
(東北大学青葉山キャンパス内)

オープンイノベーション環境の更なる充実

地場企業や大企業のオープンイノベーションの機運醸成に向け、事例を共有する勉強会や交流会の開催、仙台市×東北大学スマートフロンティア協議や、NTT東日本が運営するスマートイノベーションラボ仙台のアセットを活用したスタートアップとのマッチング機会・コーディネート機能を拡大。



地場企業・大企業と
スタートアップとの交流会



スマートイノベーションラボ仙台
(アーバンネット仙台中央ビル内)

J-Startup TOHOKU企業等に対する集中支援

新コンソーシアム会員の支援メニューの見える化や連携体制を構築し、J-Startup TOHOKU企業をはじめとする成長有望なスタートアップに対して、国内外でのプログラム参加やイベントを通じたマッチング等事業の成長に向けて効果的な支援が提供される環境を構築。



首都圏等のピッチイベントへの
参加支援



リバースピッチやマッチング
イベントによる商談獲得

IV. エコシステム形成の土台をつくる 実績と目標

1.アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

世界最先端のアントレプレナーシップ教育を通じてグローバルで活躍するスタートアップの創出を加速

産学官金が連携した小中高生向けプログラムや、大学生や若者を対象とした世界最先端の人材育成や事業開発プログラム、海外派遣プログラムを通じて仙台・東北から世界を意識したスタートアップの創出を目指す。

小中高生向けアントレプレナーシップ醸成プログラム

産学官金が連携して小中高生へプログラムを提供。



小中学生向け起業体験ワークショップ



大学生社会起業家人材育成プログラム



高校生社会課題探求ゼミ

大学生向け新規事業開発プログラム「せんだい共創ラボ」

NTT東日本宮城事業部が大学生を対象に、アイディエーション等を通じた新規事業アイデア創出プログラムを提供し、起業を目指す学生を育成。



大学生や研究者向け海外派遣プログラム(MASP等)

起業を目指す大学生や研究者に対して、海外大学と連携したレクチャーやワークショップ、海外派遣プログラムを提供。



UC Berkeley講師
によるデザイン思考
のレクチャー



École
Polytechnique
での現地プログラム



Tallinn University of
Technologyでのe-
Governmentプログラム



National University
of Singaporeでのレク
チャーや交流

仙台グローバルスタートアップ・キャンパス(仙台市)

東北の学生や若者に対して、世界最先端のアントレプレナーシップ教育プログラムを提供。



Stage.01
アントレプレナーシッププログラム
世界最大・最先端のオンライン教育プ
ラットフォームCourseraとMoU締結
110名に欧米の最先端のアントレプレ
ナーシップ関連の人気コースを提供



Stage.02
リーダーシッププログラム
20名がハーバード・ビジネススクール
の人気オンラインプログラム受講
HBS元教授竹内弘高氏による特別
セッションも開催



Stage.03
ボストン・シリコンバレー派遣
20名を米国ボストン、シリコンバ
レーに派遣し、ハーバード大学、スタ
ンフォード大学、MITメディアラボな
ど、イノベーション拠点を訪問

IV. エコシステム形成の土台をつくる 今後の取組

1. アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

世界最先端のアントレプレナーシップ教育を通じてグローバルで活躍するスタートアップの創出を加速

仙台市やみちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)等が実施するアントレプレナーシップ教育プログラムや海外派遣プログラムにより、東北の学生や若者にグローバルな視野を広げる機会を提供し、東北の自治体や支援拠点と連携し、東北域内での起業と定着を促進。



プログラム修了者に対して、
多様な支援者による伴走支援を行い、
仙台・東北での起業と定着を促進。



東北の学生・研究者・若者への
世界標準のアントレプレナーシップ教育プログラムや
海外派遣プログラムの実施により、
グローバルを見据えた起業意欲を醸成。



各地域でのロールモデル創出により、
グローバルプログラムへ参加する優秀な若者が増え、
グローバルスタートアップが生まれる
エコシステムの形成へ。

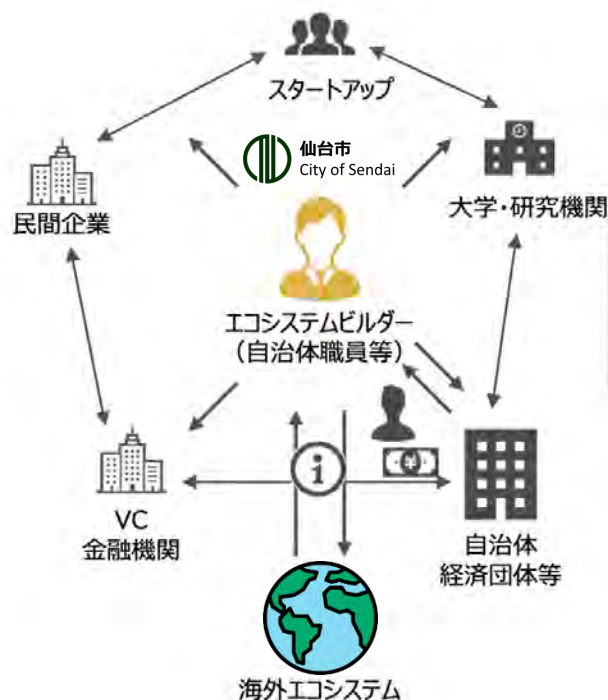
IV. エコシステム形成の土台をつくる エコシステムを支える人材・組織の確保

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

仙台・東北の多様なエコシステムビルダーが参画しスタートアップ支援環境が大きく前進

立上げ期(～拠点都市選定前)

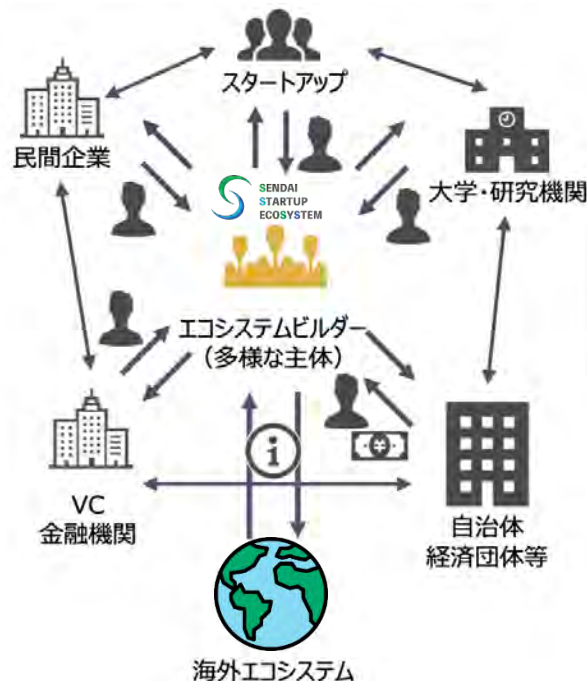
仙台市を中心とした行政発信でエコシステムを形成。グローバルに精通した人材が不十分だった点が課題。



仙台市(行政)を中心とした
スタートアップ支援体制の立ち上げ

安定期(選定後～現在)

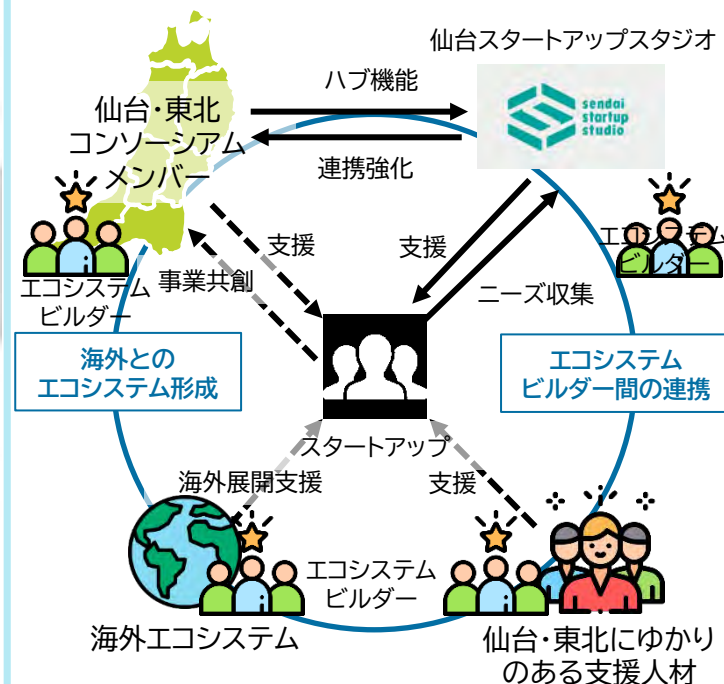
仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会の発足により、地元の産学官金が連携した支援体制が構築され、スタートアップ輩出・育成に向けた環境と連携が整備されてきた。



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議
会の発足を契機として、より産学官金が
一体となった支援体制が確立

発展期(現在から5年後)

仙台・東北にゆかりがありグローバルに活躍する人材を「戦略アドバイザー」として起用することで、スタートアップの海外展開や海外エコシステムとの関係構築を深め、世界で勝負できるスタートアップ輩出を目指す。



多様な人材の参画と広域ネットワークでの
拠点間連携が構築され、起業から海外での
活躍までシームレスに支援する体制へ発展

IV. エコシステム形成の土台をつくる エコシステムを支える人材・組織の確保

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

スタートアップを経済成長のエンジンに位置付け、人員・予算を大幅に増強



仙台市基本計画2021-2030

8つのチャレンジプロジェクト(重点プロジェクト)において、ソーシャル・イノベーションを生み出す起業家やスタートアップの支援を明記

⑦TOHOKU未来プロジェクト

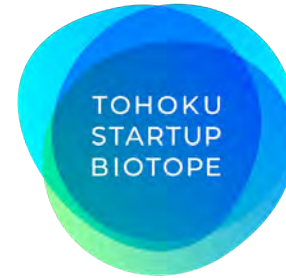
仙台・東北を舞台にイノベーションを生み出す

東北をはじめ国内外の都市との戦略的提携等を通じた魅力的な事業の創出とグローバルなビジネスの推進、ソーシャル・イノベーションを生み出す起業家をはじめとしたあらゆる事業者が挑戦しやすい環境・風土づくりなど

⑧都心創生プロジェクト

イノベーションが生まれる都心をつくる

企業・起業家・教育機関等による新たな事業の創造を応援する文化・コミュニティの構築を通じたスタートアップ・エコシステムの育成、産学官金の技術やノウハウを活用したイノベーションの創出など



800名以上が登録

東北のスタートアップや仙台・東北にゆかりのある支援者などが集うオンラインコミュニティ「TOHOKU STARTUP BIOTOPE」を開設し、多様な人材が関わるエコシステムを強化。

2023年度からスタートアップ支援を強化

スタートアップを経済成長のエンジンに

私はシリコンバレーを訪問してまいりました。そこでは、スタンフォード大学を中心に多くのスタートアップが生まれ、イノベーションに取り組む企業が集積しており、起業家や学生が日夜研鑽を積む姿を目の当たりにしました。本市には世界レベルの研究機関である東北大学が立地し、スタートアップ・エコシステムの発展に向けた産学官金の連携が構築されています。若者をはじめ、多くの方が刺激し合いながら挑戦を繰り返し、世界への飛躍を目指す。その後押しを行うことがこのまちの持続的成長に不可欠だとの思いを強くしたところでございます。

令和5年度施政方針要旨より



令和7年度施政方針要旨(抜粋)

若者の活躍はまちに新風を吹き込み、活力を創出します。その思いから若者のスタートアップ支援に力を注いでまいりました。この間、創薬や宇宙産業など世界への進出も視野に入れた大学発ベンチャーが誕生しています。

「グローバル・スタートアップ都市・仙台」。

学都の知の力を生かし、スタートアップを新たな成長エンジンにする。そのため、海外を見据えたワンストップ窓口の開設や、共創と協業の場となるウェットラボの整備など、現場のニーズに応えながら、起業から海外での活躍までシームレスに支援します。

2023年度にスタートアップ支援課を新設
人員・予算を増強し、スタートアップ支援体制を強化
人員(専任):5名→10名 関連予算:約9.2億円→約10.6億円



2025年度にスタートアップ・エコシステムのグローバル化を目指し、人員・予算を増強
人員(専任):10名→12名 関連予算:約13.2億円→約16.4億円

IV. エコシステム形成の土台をつくる エコシステムを支える人材・組織の確保

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会をベースに、「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)」との連携や仙台・東北の自治体等との連携をさらに強化

仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

現在の協議会会員に加え、MASP参画機関(大学等)、仙台・東北の意欲のある産学官金等が広く参画

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会



67団体 + α

一般社団法人
東北経済連合会

KEIZAI DOYUKAI 仙台経済同友会
Sendai Association of Corporate Executives

経済産業省
東北経済産業局

Be a Great Small
中小機構

宮城県
Miyagi Prefecture

青森県

秋田県

岩手県

山形県

新潟県

NIIGATA PREFECTURE



【共同代表】
仙台市長
郡 和子
仙台市
City of Sendai

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)



【共同代表】
東北大学総長
富永 悌二氏
東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



MICHINOKU
ACADEMIA
STARTUP
PLATFORM

146団体 + α

弘前大学

岩手大学

秋田大学

山形大学

福島大学

新潟大学

長岡技術科学大学

宮城大学

会津大学

岩手県立大学

秋田県立大学

東北芸術工科大学

東北学院大学

福島県立医科大学

八戸工業大学

一関工業大学

福島工業大学

青森県立大学

THCI

戦略アドバイザー

グローバルに活躍され、
仙台・東北のスタートアップ支援に知見を有する方々が
戦略アドバイザーとして参画



株式会社zero to one
代表取締役CEO
竹川 隆司 氏



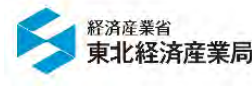
One Capital株式会社
パートナー
横田 有香子 氏



株式会社ハラルボニー
代表取締役Co-CEO
松田 文登 氏

事務局

東北を対象としたプログラムを運営する
仙台市、東北大学、東北経済産業局が事務局を担当



IV. エコシステム形成の土台をつくる 今後の取組

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

コンソーシアム参画自治体や大学等の個性を活かした地域間連携と人的交流の促進

定期的な勉強会・意見交換会・交流会等を通じて、各地域のスタートアップ支援の状況や地域の強み・課題の共有などコンソーシアム会員同士で顔の見える関係性を構築することで、域外からの人材や支援者の誘致に向けた地域間連携の促進、地域の特性に応じたスタートアップ向けイベントの開催、スタートアップの相談に対して、必要な支援者にたどり着くことができる体制構築を目指す。

取組事例

MASP対面ミーティングによる情報交換

東北の主要な大学や高专が参画するみちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)では、各組織を集めた対面ミーティングを定期的に開催。東北各県及び新潟県の各大学を会場に、ハイブリッドで有識者や行政職員による講演、各大学からアントレプレナーシップ教育やスタートアップ創出に向けた取り組みに関する報告会を開催し、情報交換と不足するリソース確保に向けた連携強化を進めている。



勉強会・意見交換会・交流会を通じて支援者間のさらなる交流を促進



先進事例を分析する勉強会



支援実績の共有・意見交換



スタートアップのニーズ分析



連携イベントの開催